平成23年旭市議会第1回定例会会議録

議事日程（第6号）

平成23年3月17日（木曜日）午前10時開議

- 第 1 常任委員長報告
- 第 2 質疑、討論、採決
- 第 3 事務報告
- 第 4 閉 会

本日の会議に付した事件

- 日程第 1 常任委員長報告
- 日程第 2 質疑、討論、採決
- 追加日程第1 発議案上程
- 追加日程第2 提案理由の説明
- 追加日程第3 質疑、討論、採決
- 日程第 3 事務報告
- 日程第 4 閉 会

出席議員（22名）

1番	大塚 祐 司	2番	飯 嶋 正 利
3番	宮 澤 芳 雄	4番	太 田 將 範
5番	伊 藤 保	6番	島 田 和 雄
7番	平 野 忠 作	8番	伊 藤 房 代
9番	林 七 巳	10番	向 後 悦 世
11番	景 山 岩三郎	12番	滑 川 公 英
13番	嶋 田 哲 純	14番	柴 田 徹 也
15番	木 内 欽 市	16番	佐久間 茂 樹
17番	日 下 昭 治	18番	林 俊 介
19番	嶋 田 茂 樹	20番	高 橋 利 彦

欠席議員（なし）

説明のため出席した者

市 長	明智 忠直	副 市 長	増 田 雅 男
教 育 長	刃 田 哲 雄	秘書広報課長	米 本 壽 一
行 政 改 革 推 進 課 長	林 清 明	総 務 課 長	平 野 哲 也
企 画 課 長	神 原 房 雄	財 政 課 長	加 瀬 正 彦
税 務 課 長	堀 川 茂 博	市 民 課 長	石 井 繁
環 境 課 長	浪 川 敏 夫	保 險 年 金 課 長	花 香 寛 源
健 康 管 理 課 長	石 毛 健 一	社 会 福 祉 課 長	在 田 豊
子 育 て 支 援 課 長	林 芳 枝	高 齢 者 福 祉 課 長	渡 辺 輝 明
商 工 観 光 課 長	横 山 秀 喜	農 水 産 課 長	堀 江 隆 夫
建 設 課 長	北 村 豪 輔	都 市 整 備 課 長	伊 藤 恒 男
下 水 道 課 長	佐 藤 邦 雄	会 計 管 理 者	高 山 重 幸
消 防 長	佐 藤 清 和	水 道 課 長	小 長 谷 博
病 院 事 務 部 長	渡 辺 清 一	病 院 経 理 課 長	鈴 木 清 武
国 民 宿 舎 支 配 人	増 田 富 雄	庶 務 課 長	加 瀬 寿 一
学 校 教 育 課 長	平 野 一 男	生 涯 学 習 課 長	野 口 國 男
国 体 推 進 室 長	高 野 晃 雄	監 査 委 員 長 事 務 局 長	平 野 修 司
農 業 委 員 会 長 事 務 局 長	伊 藤 浩		

事務局職員出席者

事 務 局 長	堀 江 通 洋	事 務 局 次 長	向 後 嘉 弘
---------	---------	-----------	---------

開議 午前10時 0分

○議長（林 一哉） おはようございます。

会議を開会する前に、あらかじめご了解をお願いいたします。

市の広報及び報道関係者の取材のため、この後、本議場内の写真撮影を行いますので、ご了解をいただきたいと思います。

○議長（林 一哉） ここで、今回の東北地方太平洋沖地震において、日本全土に多大なる災害をもたらし、そしてここ旭市においても、多数の市民がお亡くなりになりました。ここに
ご冥福をお祈りし、黙禱をささげたいと思います。ご起立をお願いいたします。

黙禱。

（全員黙禱）

○議長（林 一哉） 黙禱を終わります。

ありがとうございました。ご着席ください。

○議長（林 一哉） ただいまの出席議員は22名、議会は成立いたしました。

これより本日の会議を開きます。

各常任委員会に付託いたしました議案の審査結果は、お手元に配布のとおりであります。

配布漏れはありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（林 一哉） 配布漏れないものと認めます。

○議長（林 一哉） ここで執行部より発言の申し出がありましたので、これを許可いたしま

す。

明智市長、ご登壇願います。

(市長 明智忠直 登壇)

○市長(明智忠直) 議長のお許しをいただきましたので、東北関東大震災についてご報告させていただきます。

去る3月11日午後2時46分に東北地方太平洋沖地震が発生しました。この地震により大津波が数回にわたり来襲し、本市の有史以来、最大の被害が発生いたしました。特に海岸線沿いは壊滅的な状況であり、地震と津波による建物の全壊は339棟、半壊は164棟、死者12名という被害となりました。建物の崩壊などを見ると、改めて津波の恐ろしさを感じたところがあります。この津波によりお亡くなりになられました12名の市民の方々のご冥福を心からお祈り申し上げます。併せまして、被害を受けられました皆様に衷心よりお見舞いを申し上げる次第であります。

発生からの対応といたしまして、地震発生直後に災害対策本部を立ち上げ、早急に市民の避難場所を設置いたしました。発生直後には、11か所の避難場所に2,863名が避難してまいりましたが、現在は4か所、671人となっております。市との災害協定に基づき、避難民に対する食料や毛布などの物資の輸送を千葉県トラック協会海匝支部にご協力いただき、倒壊家屋などの廃材等の処理では旭市建設業災害対策協力会にご協力をいただいているところであります。

市民生活に欠かすことのできない水道については、地震により東総広域水道企業団の送水が停止したことや、本市の水道管が被害を受け、すべての配水場が送水を停止いたしました。ご不便をおかけいたしました。14日には全地域、給水を開始いたしました。しかし、一部断水している地区については、自衛隊や水道課の給水車により供給を実施しております。復旧については、全力で今取り組んでいるところであります。

今回の災害に係る経費は、災害救助法の適用を受け、経費については千葉県が負担することとなりますが、補助対象以外に係る経費については市町村が負担とするところであります。この市町村が負担する経費については財政調整基金等を利用いたします。なおまた、現在、激甚災害の地域指定の申請を行っているところであります。また、庁舎積立基金であります。このような積み立てをしないでこの分を災害経費に充てるべきとの意見もありますが、繰替運用につきましては他の目的に使用できる制度になっており、災害復旧に使用できますので、ご理解をお願いしたいと思います。これは基金も同じであります。

今後、復旧に向け全職員一丸となり、民間事業者やボランティアの皆様のご協力をいただきながら、一刻も早く住みやすい旭になるよう全力で取り組んでまいりますので、議員の皆様のご協力をお願い申し上げます。

以上、東北関東大震災についてご報告を申し上げます。

ありがとうございました。

◎日程第1 常任委員長報告

○議長（林 一哉） 日程第1、常任委員長報告。

これより各常任委員会に付託いたしました議案第1号から議案第20号までと議案第22号から議案第34号までの合わせて33議案の審査経過と結果について、各委員長の報告を求めます。

初めに、建設経済常任委員会委員長、滑川公英議員、ご登壇願います。

（建設経済常任委員長 滑川公英 登壇）

○建設経済常任委員長（滑川公英） おはようございます。

建設経済常任委員長報告。

建設常任委員会委員長の報告を申し上げます。

去る3月3日の本会議において、本委員会に付託されました議案第1号、平成23年度旭市一般会計予算の議決についてのうち本委員会所管事項について、議案第5号、平成23年度旭市下水道事業特別会計予算の議決について、議案第6号、平成23年度旭市農業集落排水事業特別会計予算の議決について、議案第7号、平成23年度旭市水道事業会計予算の議決について、議案第9号、平成23年度旭市国民宿舎事業会計予算の議決について、議案第10号、平成22年度旭市一般会計補正予算の議決についてのうち本委員会所管事項について、議案第13号、平成22年度旭市下水道事業特別会計補正予算の議決について、議案第14号、平成22年度旭市水道事業会計補正予算の議決について、議案第16号、平成22年度旭市国民宿舎事業会計補正予算の議決について、議案第19号、旭市非常勤の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について、議案第30号、旭市水道事業企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例の制定についての11議案について、審査経過並びに結果を申し上げます。

去る3月10日午前10時より、議会委員会室において、議案説明のため執行部より副市長ほ

か関係課長等の出席を求め、本委員会を開催いたしました。

それでは、審査内容について、質疑とその答弁の内容を申し上げます。

初めに、議案第1号の主な質疑3点について申し上げます。

1点目として、農林水産業費の環境調査指導委託料について、その目的は何かとの質疑では、この委託料については、市内の小学校を対象に外部講師を依頼し、環境調査を実施するもので、水田等を中心に、どんな生物がいるのか、それが農業にどんな貢献をしているか、子どもたちが発見をして環境の大切さを体験するとともに、その調査結果をアピールしながら旭市の持っている農業力を消費者の代表の方々などに紹介していきたいと考えているとの答弁がありました。

次に、2点目として、農林水産業費の水産まつりを含む四つの産業まつりについて、1,345万3,000円の補助金を計上しているが、四つを一つにしたと仮定したとき、その予算はどのくらいを考えているかとの質疑では、各まつりを一つにするという部分については、水産まつりについては、時期的な面があるので、一緒にすることは難しいと考えているが、ほかの三つのまつりについては一つにすることで経費が相当安くできると考えているとの答弁がありました。

最後に、3点目として、商工費のふるさと雇用再生ふるさと産品ショップおあがんな旭のについて、月額の家賃、人件費、光熱費は幾らか。また、売り上げ状況と今後の見込みはどの質疑では、おあがんな旭の維持費については、家賃は月16万8,000円、人件費は4人を想定して、法定福利費等を含めて月92万1,000円、光熱水費は月6万5,000円を見込んでいる。売り上げ状況については、平成22年6月から平成23年2月までで、営業日数240日、購入者数8,213人、売り上げ655万8,129円、1日当たりの平均は2万7,326円ということで、大変苦戦している状況である。

このような状況から、いかに旭をアピールするかということで、イベントへの出店や刑部岬展望館への出店ということで出張販売等を実施したところ、その効果があるということが分かったので、来年度、少しでもPRにつながればと計画をしているとの答弁がありました。

次に、議案第5号の主な質疑について申し上げます。

下水道事業について、接続率が低い、すべての加入者が接続できるような利用体系は考えているのかとの質疑では、接続の促進については、指定工事店や市の職員が戸別に訪問するなどして普及に努めていきたいと考えているとの答弁がありました。

以上、主な質疑及び答弁内容について申し上げますが、そのほか質疑を尽くし、審査の

結果、別紙報告書のとおり、議案第5号は賛成多数で、そのほかの議案については全員賛成でそれぞれ原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上のとおり報告いたします。

平成23年3月17日、建設経済常任委員長、滑川公英。

○議長（林 一哉） 建設経済常任委員長の報告は終わりました。

続いて、文教福祉常任委員会委員長、向後悦世議員、ご登壇願います。

（文教福祉常任委員長 向後悦世 登壇）

○文教福祉常任委員長（向後悦世） おはようございます。

去る3月11日に、我が旭市においても大災害に見舞われました。被災されました皆さんにお見舞い申し上げます。委員会といたしましても全力で復興に向けて取り組みますので、執行部の皆さんもよろしく願いいたします。

文教福祉常任委員会委員長の報告を申し上げます。

去る3月3日の本会議において、本委員会に付託されました議案第1号、平成23年度旭市一般会計予算の議決についてのうち本委員会所管事項について、議案第2号、平成23年度旭市国民健康保険事業特別会計予算の議決について、議案第3号、平成23年度旭市後期高齢者医療特別会計予算の議決について、議案第4号、平成23年度旭市介護保険事業特別会計予算の議決について、議案第8号、平成23年度旭市病院事業会計予算の議決について、議案第10号、平成22年度旭市一般会計補正予算の議決についてのうち本委員会所管事項について、議案第11号、平成22年度旭市国民健康保険事業特別会計補正予算の議決について、議案第12号、平成22年度旭市介護保険事業特別会計補正予算の議決について、議案第15号、平成22年度旭市病院事業会計補正予算の議決について、議案第18号、旭市職員定数条例の一部を改正する条例の制定について、議案第22号、あさひ健康福祉センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について、議案第23号、飯岡福祉センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について、議案第24号、旭市立保育所条例の一部を改正する条例の制定について、議案第25号、旭市児童遊園設置条例の一部を改正する条例の制定について、議案第26号、旭市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について、議案第27号、旭市予防接種健康被害調査委員会設置条例の一部を改正する条例の制定について、議案第28号、旭市土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生の防止に関する条例の一部を改正する条例の制定について、議案第31号、旭市病院事業使用料及び手数料条例の一部を改正する条例の制定についての18議案について、審査経過並びに結果を申し上げます。

委員会の開催については、去る3月11日午前10時より、議会委員会室において、議案説明のため執行部より教育長ほか関係課長の出席を求め、本委員会を開催いたしましたが、議案審査の途中において東北地方太平洋沖地震が発生したため、当委員会を散会し、3月14日午後2時より本委員会を開催し、引き続き議案の審査を行いました。

それでは、審査内容について、質疑とその答弁の内容を申し上げます。

初めに、議案第1号の主な質疑2点について申し上げます。

1点目として、教育費の学校いきいきプラン事業について、具体的にどんな活動をしているのか。また、平成23年度はどんな活動を予定しているのかとの質疑では、各学校での取り組み状況については、特色なものとして親子地引き網体験やプロの音楽家の演奏など、地域と学校が一体となった行事を作り出し、本物のよさや魅力を十分に味わい、その取り組みを通して生きる力をはぐくむ教育が着実に進められたと考えている。また、平成23年度の予定としては、今まで取り組んだもののほか、稲作等の勤労生産活動や外部人材の活用など、各学校ともに、児童・生徒一人ひとりがいきいきと輝くために特色ある教育活動を積極的に展開したいと考えているとの答弁がありました。

次に、2点目として、教育費の学校給食センター統合改築事業について、オール電化太陽光発電ということであるが、どのくらいの光熱費が軽減できるのかとの質疑では、太陽光発電については平成24年度に計画をしているが、発電能力については10キロワットを予定しており、年間の電気節約代は17万円ほどを見込んでいる。また、夜間電力等を利用して少しでも事業費を抑えられるように工夫をしていきたいと考えているとの答弁がありました。

次に、議案第2号の主な質疑2点について申し上げます。

1点目として、後期高齢者支援金は国民健康保険事業会計にどんな影響を与えているのか。また、この制度から抜けることはできるのかとの質疑では、後期高齢者支援金については、平成20年度より老人保健制度に代わって発足された制度で、老人保健制度のときは、旭市でかかった医療費の実績に合わせて拠出金が計算されていたが、後期高齢者医療制度の場合は全国平均となり、従来より負担増になっている。また、後期高齢者医療制度は国の制度であるので、従わざるを得ないところであるとの答弁がありました。

次に、2点目として、保険給付費の妊産婦付加金は今後も続けていくのかとの質疑では、現在、この事業については、県内では旭市のみとなっているが、少子高齢化の対策事業として重要な事業と考えているので、当面は続けていきたいと考えているとの答弁がありました。

以上、主な質疑及び答弁内容について申し上げましたが、そのほか質疑を尽くし、審査の

結果、別紙報告書のとおり、議案第1号、議案第2号、議案第10号、議案第26号については賛成多数で、そのほかの議案については全員賛成でそれぞれ原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上のとおり報告いたします。

平成23年3月17日、文教福祉常任委員長、向後悦世。

○議長（林 一哉） 文教福祉常任委員長の報告は終わりました。

続いて、総務常任委員会委員長、島田和雄議員、ご登壇願います。

（総務常任委員長 島田和雄 登壇）

○総務常任委員長（島田和雄） 総務常任委員会委員長の報告を申し上げます。

去る3月3日の本会議において、本委員会に付託されました議案第1号、平成23年度旭市一般会計予算の議決についてのうち本委員会所管事項について、議案第10号、平成22年度旭市一般会計補正予算の議決についてのうち本委員会所管事項について、議案第17号、旭市行政組織条例の一部を改正する条例の制定について、議案第20号、旭市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について、議案第29号、旭市消防本部及び消防署設置条例の一部を改正する条例の制定について、議案第32号、千葉市ほか10市1町8一部事務組合消防指令事務協議会規約の制定に関する協議について、議案第33号、千葉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び千葉県市町村総合事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について、議案第34号、訴訟上の和解及び損害賠償の額を定めることについての8議案について、審査経過並びに結果を申し上げます。

去る3月14日午前10時30分より、議会委員会室において、議案説明のため執行部より副市長ほか関係課長の出席を求め、本委員会を開催いたしました。

それでは、審査内容について、質疑とその答弁の内容を申し上げます。

初めに、議案第10号の質疑について申し上げます。

総務費の庁舎整備基金積立金について、議案第21号の取り下げにより国保会計に不足が生じると思うが、このまま積み立てをするのかとの質疑では、庁舎整備基金についてはこのまま積み立てしたいと考えている。不足等の対応については、まず先に財政調整基金総額26億814万円ある中で充てたいと考えているとの答弁がありました。

次に、議案第17号の主な質疑について申し上げます。

行政組織条例の改正において、新たに体育振興課が作られるが、職員が増えていない中で課を増やす理由は何か。また、部制を引く気はあるのかとの質疑では、体育振興課の設置に

については、生涯学習課の中に体育振興班があり、現在、その担当の業務が肥大化しており、それを分けるためである。それぞれ、その時代に合った政策を進めたいと考えている。また、部制を引く気はないとの答弁がありました。

次に、議案第34号の主な質疑について申し上げます。

訴訟上の和解ということで、行政処分取消訴訟に至るまでの経緯について具体的な説明をとの質疑では、行政処分取消訴訟に至る経緯については、平成16年12月27日の許可申請に対して、旧干潟町では翌年1月14日に、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、その処理地の周りの地権者の同意を許可要件と考え、その同意がそろったことにより一般廃棄物処理業の許可を環境シンフォニックに与えたが、廃掃法の規定では、まず施設がなければいけないこと、当該干潟町が一般廃棄物の処理に困窮していることなど、さまざまな許可要件を失念しており、結果、許可の取り消しを半年後に通知したという経緯であるとの答弁がありました。

以上、主な質疑及び答弁内容について申し上げましたが、そのほか質疑を尽くし、審査の結果、別紙報告書のとおり、議案第1号、議案第17号、議案第34号は賛成多数で、議案第10号については可否同数であったことから委員長裁決において可決とし、そのほかの議案については全員賛成でそれぞれ原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上のとおり報告いたします。

平成23年3月17日、総務常任委員長、島田和雄。

○議長（林 一哉） 総務常任委員長の報告は終わりました。

以上で付託議案に対する各委員長の報告は終わりました。

◎日程第2 質疑、討論、採決

○議長（林 一哉） 日程第2、質疑、討論、採決。

これより質疑、討論、採決を行います。

各委員長の報告に対し、一括して質疑に入ります。

質疑の通告はありません。

（発言する人なし）

○議長（林 一哉） 質疑なしと認めます。

(「議長」の声あり)

○議長(林 一哉) 日下昭治議員。

○17番(日下昭治) 1点だけお聞きしたいと思います。

総務委員長にお聞きしたいんですけども、財政調整基金26億数千万円という話がありました。私の手元にある、昨年8月24日に作成した財政課の財政調整基金の金額でございすけれども、18億7,669万円という資料をいただいておりますけれども、26億円の財源に対する質疑が、もう少し詳しく質疑があったかどうか、お聞きしたいと思います。

○議長(林 一哉) 日下昭治議員の質疑に対し、答弁を求めます。

島田委員長。

○総務常任委員長(島田和雄) そういった詳しい質疑はございませんでした。

○議長(林 一哉) 質疑を終わります。

これより一括して討論に入ります。

討論の通告がありますので、発言を許可いたします。

滑川公英議員、ご登壇願います。

(12番 滑川公英 登壇)

○12番(滑川公英) 平成23年度旭市議会第1回定例会、議案第1号、平成23年度旭市一般会計予算の議決について。

3月11日にマグニチュード9.0の巨大地震が東日本、東北地方を襲い、太平洋沿岸は数え切れない津波が人命を、財産を一瞬のうちに飲み込みました。何万人にも上るかもしれない遭難者に、衷心より哀悼の意をささげます。

私どもの住む旭市でも、地震、津波による被害が甚大です。津波に遭われた多くの方々の支援が早急に望まれていることです。また、交通網、河川、護岸の復旧にも膨大な財政資金が必要です。執行部は補正予算でやるというアナウンスですが、ここ数年の答弁を顧みますと、公園問題、入札問題等にかけても、その場しのぎの答弁だったと思います。政府でさえ、緊急でないものは減額補正をすると発言していますが、ほとんどの特別会計は、一般会計を経て繰り出しをしています。何百年に一度の激甚災害です。緊急性のない予算の凍結とか、市議会を延長してでも市民のための予算を求め、執行部の善処を要望し、一般会計予算の反対討論といたします。

議案第34号、訴訟上の和解及び損害賠償の額を定めることについて。

合併当時、担当の委員会に属しておりましたが、溶融炉の基礎は、17年6月29日まで、許

可の取り消しまで作り始めていましたが、その後に入り口の橋を4トン規制から11トン車までオーケーにし、路肩を1メートル拡幅したのが旭市の建設課です。先の議案質疑で、重大な過失はないとの答弁をしているのは誤りです。許可取り消し後の工事については大反対運動が起こりました。私どもが属した委員会でも、何回にも分けて対処いたしました。今までに議会報告もなく、突然の和解提示はいかがなものございましょう。きょうの資料の中には挟まれておりますが、なぜ当日に出していただけなかったのでしょうか。そのようなことで反対をいたします。

以上で終わります。

○議長（林 一哉） 続いて、日下昭治議員、ご登壇願います。

（17番 日下昭治 登壇）

○17番（日下昭治） 17番、日下昭治でございます。

私も反対の立場から討論したいと思いますが、1号議案、反対討論を申し入れてありましたけれども、滑川議員と同様でございますので、1号議案につきましては討論のほうを割愛させていただきたいと思います。

続きまして、議案第10号について討論をいたします。

議案第10号、旭市一般会計補正予算の議決について討論を行います。

本議案の中には、庁舎整備基金積立金5億円超が積み立てられていることとなっておりますが、このたびの震災は目を見張るものがあり、庁舎の積立金に積み立てをするのではなく、震災の復興に全力を傾注すべきであると思います。冒頭の市長の発言の中で、旭市庁舎整備基金条例の5条、繰替運用の話がございました。5条、繰替運用は、財政上必要があると認めるときは確実な繰り戻しの方法、期間及び利率を定めて、基金に属する現金を歳計現金に繰り替えて運用することができる、確かになっております。ただし、6条、処分においては、基金は次の各号の……、あ、ごめんなさい。庁舎基金じゃなく、財政調整基金を読み上げてしまいました。5条は同じだと思いますが、6条、処分のほうにつきましては、基金は、市庁舎の建設及び改修に要する費用の財源に充てる場合に限り、これを処分することができるとなっております。

そういったことからしますれば、当然のごとく、庁舎のみしか使えないものとするわけでございます。でありますからして、これは庁舎積み立て基金として繰り入れるものでなくして、次年度に繰り越しか財政調整基金。いわゆる財政調整基金であれば、処分、やはり6条において、2、災害により生じた経費の財源又は災害により生じた減収をうめるための財

源に充てるとき、3として、緊急に実施することが必要になった大規模な土木その他の建設事業の経費その他必要やむを得ない理由により生じた経費の財源に充てるときとなっております。

でありますから、当然のごとく、これは財政調整基金か、あるいは次年度に繰り越すべきものとし、本議案に対しては反対とさせていただきたいと思えます。

議員の皆さんの慎重なご審査をお願いしたいと思います。

○議長（林 一哉） 以上で通告による討論は終わりました。

（「議長」の声あり）

○議長（林 一哉） 景山岩三郎議員の発言を許可いたします。

景山岩三郎議員、ご登壇願います。

（11番 景山岩三郎 登壇）

○11番（景山岩三郎） おはようございます。

去る3月11日に東北関東大地震が起きまして、旭市も例のない大被害を受けました。ちょうど、きょうで7日になります。市長はじめ市の職員、そして消防団長はじめ消防団員の皆様には大変な協力をいただきまして、ここで改めてお礼を申し上げます。

私は、この被害で特に被害の多い飯岡地区を見てまいりまして、特に学校関係、飯岡中学校の津波でやられた姿は、あれだけの被害でよかったかと正直思っております。今回の予算の中にも、飯岡中学校改築事業をはじめ、市民の生活に重要にかかわる事業が多数あると思ひ、賛成討論をさせていただきます。

国においては、厳しい経済情勢に早急に対応し、デフレからの脱却と景気の自立的回復に向けた道筋を確実なものとしていくため、昨年9月に新成長戦略実現に向けた3段階の経済対策が決定され、これにより、平成22年度補正予算において、雇用の維持と景気回復に向けた取り組みを進め、さらに、政権交代後、新政権がゼロから取り組む最初の本予算である、平成23年度予算においても、経済成長、財政健全化、社会保障改革を一体的に実現し、元気な日本を復活するための礎を築く必要があるとしており、現在の国会において予算案が審議されているものであります。

また、地方財政については、企業収益の回復などにより、地方税収や地方交付税の原資となる国税収入の増加が見込まれる一方で、社会保障関係費の大幅な自然増や公債費が高い水準で推移するなど、給与関係経費の大幅な減少を考慮しても、なお依然として大幅な財源不足が生じるものと見込まれるため、地方交付税の増額が図られております。

こうした地方財源対策により、本市の財政は地方交付税の増額が見込まれるものの、税収については景気低迷の影響から減収見込みとなるなど、依然として厳しい状況が続いているものと認識しております。

このような観点から提案されました平成23年度当初予算における主要事業を見ると、「安全で魅力あるまちづくり」に関する事業として非常通信設備事業、コミュニティバス等運行事業、消防広域化・共同化基盤整備事業、急傾斜地崩壊対策事業、道路整備関係事業、街路整備事業、旭駅前広場等整備事業。「快適でうるおいのあるまちづくり」に関する事業として合併処理浄化槽設置促進事業、環境美化推進事業、住宅用太陽光発電システム設置助成事業、排水路整備事業、公園整備事業。「健やかでやすらぎのあるまちづくり」に関する事業としては、各種健康診査事業、感染症予防対策事業、乳幼児紙おむつ給付事業、子ども医療費助成事業、子ども手当給付事業、障害者の社会参加を促進する地域生活支援事業や自立支援給付事業。「心豊かな人と文化をはぐくむまちづくり」に関する事業としては、このたび大変な被害を受けた飯岡中学校改築事業、学校いきいきプラン事業、学校給食センター統合改築事業、文化振興事業、スポーツ振興事業。「活力と躍動感に満ちたまちづくり」に関する事業として、道の駅等施設整備事業、商業活性化推進事業、観光イベント事業、各種農業関係事業。「共につくる夢のあるまちづくり」に関する主要事業として、総合計画策定事業、医療福祉・食・交流の郷づくり事業、コミュニティ育成事業などが計上されております。

さらに、国民健康保険事業特別会計をはじめとする各特別会計、各企業会計への繰出金も計上されております。また、各種の生活関連施設や都市基盤の整備をはじめ、保健・医療・福祉・教育・環境など、将来を見据えた多くの事業が総合計画や定住自立圏構想、行政改革アクションプランに沿って盛り込まれております。

また、歳入については、市税収入が対前年度0.4%の減と見込んでいるものの、地方譲与税や各種交付金は、企業収益が回復傾向にあることから増と見込まれているものもあり、地方交付税の増と合併特例債をはじめ有利な財源の活用により、必要な事業を実施するための歳入確保が図られたものと考えております。

以上のとおり、今回提案された予算案は、依然として厳しい経済情勢が続いている中で、国の地方財政計画に基づき、歳入歳出すべてにおいて精査を行い、市の一体性の速やかな確立と市全体の均衡のある発展を目指した予算編成となっておりますことは高く評価するものであります。

また、今回の被災による支援、復旧については、別途予算措置がされるということをおつ

ており、市においても速やかに対応されるものと考えておるところでございます。災害復旧に最大限の努力をしていただくのはもちろんですが、本予算におきましては市民生活に必要な事業も多々盛り込まれており、早期の成立が望まれるところであります。

終わりに、市長をはじめ執行部におかれましては、より一層効果的、効率的な財政運営に当たられるよう要望いたしまして、私の賛成討論といたします。

続いて、議案第34号、訴訟上の和解及び損害賠償の額を定めることについて、賛成の立場から討論を行います。

旭市は、合併後6年を経過しようとしており、これまでの年月を経て、新市として一体感の醸成がなされているところです。本議案は、合併前の旧干潟町における行政処分起因する損害賠償請求にかかわる和解及び損害賠償の額の確定に関する議案であります。

執行部の説明によりますと、本件訴訟の提起後、2年余りの間に計18回もの期日を重ね、また、裁判所の2度の和解勧告を得た上での議案提出と聞いております。私は、裁判所からの2度目の勧告は相当に重いものであると考えます。また、いつまでも合併前の問題を引きずることは、旭市の発展にとって決してよいことではないと思うのであります。

このようなことから、この際、本議案を可決して和解を成立させ、この問題の解決を図ることが最良の選択であると考え、私の賛成討論といたします。

(「議長」の声あり)

○議長(林 一哉) 飯嶋正利議員の発言を許可いたします。

(2番 飯嶋正利 登壇)

○2番(飯嶋正利) 議長より許可を得ましたので、10号議案に対しまして賛成討論をいたします。

私は、議案第10号、平成22年度旭市一般会計補正予算(第4号)について、賛成の立場から討論いたします。

今回の補正予算につきましては、歳入歳出にそれぞれ9億2,600万円を追加し、歳入歳出予算の総額を293億3,500万円とするものです。補正内容につきましては、国の補正予算、地域活性化・きめ細かな交付金、住民生活に光をそそぐ交付金に基づく新規事業と、各事業における決算見込みを踏まえた増減などです。

国の補正関連事業は、きめ細かな交付金として庁舎改修事業、保育所施設改修事業、保安林植栽事業、道路維持補修事業、旭駅前広場等整備事業、公園維持管理費、生涯学習施設改修事業、社会体育施設改修事業の8事業。また、住民生活に光をそそぐ交付金については、

障害者福祉事務費、保健衛生総務事務費、消費者保護対策事業、学校図書購入事業、図書館活動費の5事業で、全体としては13事業となっております。

また、増額となっております事業は、総務事務費、庁舎整備基金積立金、国保会計繰出金、介護保険会計繰出金、農業活性化推進事業、中学校施設管理費、病院事業会計繰出金、国民宿舎事業公営企業費などであります。

次に、減額となっております事業は、電算システム運用事業、経営体育成基盤整備事業、広域農業基盤整備事業、仁玉川改修事業、広域営農団地農道整備事業、非常通信施設整備事業、飯岡中学校改修事業、国民体育大会開催事業、水道事業会計出資金などとなっております。

また、国の補正関連事業においては、本来であれば市単独の財源で実施するものを、この交付金を活用してきめ細かなインフラの整備や障害を持った方に配慮した施設改修、子どもたちのための図書の購入などを行うものです。

以上のことから、今回の補正については、各事業における決算見込みを踏まえ、景気低迷の中にあって地域経済の回復につながる、真に必要とされる事業に財源を効果的、効率的に配分しており、大いに評価すべきものがあります。

また、今回の災害による市民に対する支援並びに復旧については、災害救助法の適用を受け、市においても措置されるということも伺っております。市においても速やかな対応がなされるものと考えるところであります。

このような中、厳しい財政状況が続くと思われませんが、市長をはじめ執行部におかれましては、引き続き慎重なる財政運営のもと、なお一層の財政の健全化に当たられますよう要望いたしまして、第10号議案の賛成討論とさせていただきます。

○議長（林 一哉） ここで11時15分まで休憩いたします。

休憩 午前11時 4分

再開 午前11時15分

○議長（林 一哉） 休憩前に引き続き会議を開きます。

（発言する人あり）

○議長（林 一哉） 日下昭治議員。

○17番（日下昭治） 先ほど、討論をやらせていただきましたけれども、滑川議員と第1号、

第34号ダブっていた関係で、議会運営上、討論を割愛するということでもございました。再度、討論を求めようとしたけれども、討論は一度のみということでもございますので、私も挙手しましたけれども、そういうことで理解いたしました。

(「議長」の声あり)

○議長(林 一哉) 佐久間茂樹議員。

(16番 佐久間茂樹 登壇)

○16番(佐久間茂樹) 16番、佐久間茂樹です。

討論に事前通告が必要だという話で、私、事前通告出しておりませんでした。ただ、賛成討論も事前通告されていなかったということで、賛成討論を聞いていまして、ちょっと疑問に思うところもありますので、突然ですけども、発言をさせていただきたいと思います。

○議長(林 一哉) 佐久間議員、許可いたします。

○16番(佐久間茂樹) 発言の許可をいただきましてありがとうございます。

今回の東北関東大地震、大震災、私、飯岡に住んでまして、もう65年になりますけれども、初めてです。特に旧飯岡市街地は壊滅状態。何人も死に、知っている人も亡くなっています。まだ行方不明になっている人もいます。私の妹も今避難しております。とにかく、今までにない被害です。本当に百年、あるいは数百年に一回、多分これで旧飯岡町は立ち直れないんじゃないかと思う。それで、あれだけでよかったとか、そんな言葉聞きたくないですね。

そして、特に10号ですけども、庁舎建設積立金を使えるとか使えないとかという問題じゃなくて、そのお金を速やかに、市として緊急対策費として回してほしい。

その前に、ちょっと急なんであれですけども、市の職員の方でもやっぱり被害に遭っている、災害に遭っている方もいらっしゃるわけです。寝ないで一生懸命、対策、避難民のお世話とか、食うものも食わず、昼夜いろいろ苦勞されていることは分かっております。本当にご苦勞さまでございます。

その中で議会をもませて、議会に手間暇かけて、あまり言わないでくれと。21号を取り下げるから、そのほかのことは賛成してくれと、そういう話をいただきました。できるだけ何も言わないつもりでいたんですけども、まず市の姿勢として、庁舎建設積立金とか何とか言わないで、それを速やかに市として緊急対策費だと。その5億円をすっぱり振り替えてください。それだけの手間だって、第10号の補正をそれに変えるだけだったら、大して時間がかからないわけです。その姿勢を見せてほしい。

(発言する人あり)

○16番（佐久間茂樹） そうでなければ、旧飯岡、旭、そのほかの人は立ち上がれないです。災害対策法の第9条の適用を待つ。激甚災害法に指定されるのを待つ。市長、そんなの待っているんですか。待つ前に、その金を対策費として出してください。そういう意味で第10号反対です。

（「議長」の声あり）

○議長（林 一哉） 木内欽市議員、発言を許可いたします。

ご登壇してください。

（15番 木内欽市 登壇）

○15番（木内欽市） 15番、木内です。

私も通告はしてございませんが、今までのを聞いておりました、第1号議案どうするか、今でもまだ迷っているんですが、反対の立場から討論を申し上げさせていただきたい。

やはり非常な大災害でありまして、当初、災害を想定しないときに組んだ予算、それはやらないこともできるでしょうが、その前に、取りあえずやめるべきことはやめるということで、新たに予算を、計画を出していただきたい、こう思うんです。例えば、先ほども出しましたが、いろいろな事業を計画しておるようでございます。道の駅の事業であるとか、飯岡海上連絡道であるとか、これを今この予算を通さなくても、取りあえず……。今、激甚の指定をぜひ受けたいということでございますが、被災者の旭市がそれをそのまま出しておいて、さあ激甚を受けてくれと。やはりこれもちょっとどうかと私は思うんです。旭市がこれだけのことを……。私どもいつも警備やっていますが、ひどい状態です。これから何をやっていか、あと分からないと、手も足も出ないという状況なんですね、今現在。消防団のやるべき仕事はほとんど終わりました。この後、倒壊家屋をどうするのか、どうやっていいのか手も足も出ない状態で、このまま道の駅事業であるとか、さまざまな事業……。まあ当然、執行部はお考えと思いますが、佐久間議員の話聞いて、私も思いました。予定しているすべての事業を中止するぐらいの気持ちが当然あるでしょうけれども、まあ具体的に申し上げれば、先ほども産業まつりの経費千何百万云々がありました、これも、申し訳ないですが、こういう行事もすべて中止。

（発言する人あり）

○15番（木内欽市） 市民体育祭も中止。

（発言する人あり）

○15番（木内欽市） そのほか、申し訳ないですが、長年続いた七夕まつりも中止。すべて

そういう姿勢で臨んで、市はこれだけやっているんだから、被災者の皆さん、もう少し我慢してくださいよと。こういう方向をやはり出していただきたいなと思ひまして、第1号議案、これ通るかどうかわかりませんが、本来は立ちたいんですけれども、今聞いていて、申し訳ないですが、私は反対の立場ということで討論をさせていただきます。よろしくお願ひします。

また、議員各位にも、執行の提案を反対するという事は非常に厳しいものがありますけれども、どうか会派、党派を超えて、今、市がどういう状況に置かれているかと。また予算を組み直せばいいじゃないですか。

(発言する人あり)

○15番(木内欽市) きょう決をとらなくても、会期を延ばすとか、あとはこの間、全員協議会でもんで、どうするんだとか、まだまだ時間もあります。それをやらないでいきなりここで、この後、討論省略で採決ということになるとどうかと思いますので、私は、もしこのままやるのであれば、やむなく反対をさせていただきたいと、このように思ひます。

討論を終わります。

○議長(林 一哉) 討論を終わります。

これより採決いたします。

議案第1号、平成23年度旭市一般会計予算の議決について、賛成の方の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(林 一哉) 賛成多数。

よって、議案第1号は原案のとおり可決されました。

議案第2号、平成23年度旭市国民健康保険事業特別会計予算の議決について、賛成の方の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(林 一哉) 賛成多数。

よって、議案第2号は原案のとおり可決されました。

議案第3号、平成23年度旭市後期高齢者医療特別会計予算の議決について、賛成の方の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(林 一哉) 賛成多数。

よって、議案第3号は原案のとおり可決されました。

議案第4号、平成23年度旭市介護保険事業特別会計予算の議決について、賛成の方の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(林 一哉) 全員賛成。

よって、議案第4号は原案のとおり可決されました。

議案第5号、平成23年度旭市下水道事業特別会計予算の議決について、賛成の方の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(林 一哉) 賛成多数。

よって、議案第5号は原案のとおり可決されました。

議案第6号、平成23年度旭市農業集落排水事業特別会計予算の議決について、賛成の方の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(林 一哉) 全員賛成。

よって、議案第6号は原案のとおり可決されました。

議案第7号、平成23年度旭市水道事業会計予算の議決について、賛成の方の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(林 一哉) 全員賛成。

よって、議案第7号は原案のとおり可決されました。

議案第8号、平成23年度旭市病院事業会計予算の議決について、賛成の方の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(林 一哉) 全員賛成。

よって、議案第8号は原案のとおり可決されました。

議案第9号、平成23年度旭市国民宿舎事業会計予算の議決について、賛成の方の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(林 一哉) 賛成多数。

よって、議案第9号は原案のとおり可決されました。

議案第10号、平成22年度旭市一般会計補正予算の議決について、賛成の方の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(林 一哉) 賛成多数。

よって、議案第10号は原案のとおり可決されました。

(「確認」の声あり)

○議長(林 一哉) 今、11人いましたので。

(「確認」の声あり)

○議長(林 一哉) じゃ、改めて採決いたします。

賛成の方の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(林 一哉) 賛成少数。

よって、議案第10号は否決されました。

議案第11号、平成22年度旭市国民健康保険事業特別会計補正予算の議決について、賛成の方の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(林 一哉) 全員賛成。

よって、議案第11号は原案のとおり可決されました。

議案第12号、平成22年度旭市介護保険事業特別会計補正予算の議決について、賛成の方の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(林 一哉) 全員賛成。

よって、議案第12号は原案のとおり可決されました。

議案第13号、平成22年度旭市下水道事業特別会計補正予算の議決について、賛成の方の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(林 一哉) 全員賛成。

よって、議案第13号は原案のとおり可決されました。

議案第14号、平成22年度旭市水道事業会計補正予算の議決について、賛成の方の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(林 一哉) 全員賛成。

よって、議案第14号は原案のとおり可決されました。

議案第15号、平成22年度旭市病院事業会計補正予算の議決について、賛成の方の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(林 一哉) 全員賛成。

よって、議案第15号は原案のとおり可決されました。

議案第16号、平成22年度旭市国民宿舎事業会計補正予算の議決について、賛成の方の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(林 一哉) 全員賛成。

よって、議案第16号は原案のとおり可決されました。

議案第17号、旭市行政組織条例の一部を改正する条例の制定について、賛成の方の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(林 一哉) 賛成多数。

よって、議案第17号は原案のとおり可決されました。

議案第18号、旭市職員定数条例の一部を改正する条例の制定について、賛成の方の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(林 一哉) 全員賛成。

よって、議案第18号は原案のとおり可決されました。

議案第19号、旭市非常勤の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について、賛成の方の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(林 一哉) 全員賛成。

よって、議案第19号は原案のとおり可決されました。

議案第20号、旭市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について、賛成の方の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(林 一哉) 全員賛成。

よって、議案第20号は原案のとおり可決されました。

議案第22号、あさひ健康福祉センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について、賛成の方の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(林 一哉) 全員賛成。

よって、議案第22号は原案のとおり可決されました。

議案第23号、飯岡福祉センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について、賛成の方の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(林 一哉) 全員賛成。

よって、議案第23号は原案のとおり可決されました。

議案第24号、旭市立保育所条例の一部を改正する条例の制定について、賛成の方の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(林 一哉) 全員賛成。

よって、議案第24号は原案のとおり可決されました。

議案第25号、旭市児童遊園設置条例の一部を改正する条例の制定について、賛成の方の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(林 一哉) 全員賛成。

よって、議案第25号は原案のとおり可決されました。

議案第26号、旭市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について、賛成の方の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(林 一哉) 全員賛成。

よって、議案第26号は原案のとおり可決されました。

議案第27号、旭市予防接種健康被害調査委員会設置条例の一部を改正する条例の制定について、賛成の方の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(林 一哉) 全員賛成。

よって、議案第27号は原案のとおり可決されました。

議案第28号、旭市土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生の防止に関する条例の一部を改正する条例の制定について、賛成の方の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(林 一哉) 全員賛成。

よって、議案第28号は原案のとおり可決されました。

議案第29号、旭市消防本部及び消防署設置条例の一部を改正する条例の制定について、賛成の方の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(林 一哉) 全員賛成。

よって、議案第29号は原案のとおり可決されました。

議案第30号、旭市水道事業企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について、賛成の方の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(林 一哉) 全員賛成。

よって、議案第30号は原案のとおり可決されました。

議案第31号、旭市病院事業使用料及び手数料条例の一部を改正する条例の制定について、賛成の方の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(林 一哉) 全員賛成。

よって、議案第31号は原案のとおり可決されました。

議案第32号、千葉市ほか10市1町8一部事務組合消防指令事務協議会規約の制定に関する協議について、賛成の方の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(林 一哉) 全員賛成。

よって、議案第32号は原案のとおり可決されました。

議案第33号、千葉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び千葉県市町村総合事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について、賛成の方の起立

を求めます。

(賛成者起立)

○議長(林 一哉) 全員賛成。

よって、議案第33号は原案のとおり可決されました。

議案第34号、訴訟上の和解及び損害賠償の額を定めることについて、賛成の方の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(林 一哉) 賛成多数。

よって、議案第34号は原案のとおり可決されました。

ここでしばらく休憩いたします。

休憩 午前11時35分

再開 午前11時55分

○議長(林 一哉) 休憩前に引き続き会議を開きます。

本日、発議案が提出されました。

提出されました発議案は、発議第1号、旭市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定についての1発議案であります。

配布漏れはありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長(林 一哉) 配布漏れないものと認めます。

ただいま発議案に伴う日程の追加について、議会運営委員会を開催していただきました。

その結果につきまして、議会運営委員長の報告を求めます。

委員長、日下昭治議員、ご登壇願います。

(議会運営委員長 日下昭治 登壇)

○議会運営委員長(日下昭治) ただいま議会運営委員会を開きまして、発議案の提出に伴う追加日程について協議をいたしましたので、その内容について、私よりご報告申し上げます。

本日提出しました発議案は、発議第1号、旭市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定についての1発議案であります。

それでは、議事日程の協議結果について申し上げます。

お手元に配布してあります平成23年旭市議会第1回定例会議事日程（その2）、本日3月17日木曜日をご覧いただきたいと思いますが、この後、追加日程第1、発議第1号を上程。追加日程第2、提案理由の説明。追加日程第3、質疑、討論、採決。

以上のとおりでございます。

よろしく願いいたします。

○議長（林 一哉） 議会運営委員長の報告は終わりました。

おはかりいたします。発議第1号の1発議案を本日の日程に追加し、直ちに議題とすることにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（林 一哉） ご異議なしと認めます。

よって、本発議案を本日の日程に追加し、直ちに議題とすることに決しました。

◎追加日程第1 発議案上程

○議長（林 一哉） 追加日程第1、発議案上程。

発議第1号の1発議案を上程いたします。

発議第1号 旭市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について

◎追加日程第2 提案理由の説明

○議長（林 一哉） 追加日程第2、提案理由の説明。

提案理由の説明を求めます。

発議第1号について、議会運営委員会委員長、日下昭治議員、ご登壇願います。

（議会運営委員長 日下昭治 登壇）

○議会運営委員長（日下昭治） それでは、発議第1号についての提案理由を申し上げます。

本案は、旭市行政組織条例の一部改正により、総務委員会が所管しております企画課を企画政策課に、また市民課を市民生活課に改めることに伴い、所要の改正を行うものでありま

す。

以上、議員各位のご賛同をお願い申し上げまして、提案理由とさせていただきます。

○議長（林 一哉） 提案理由の説明は終わりました。

◎追加日程第3 質疑、討論、採決

○議長（林 一哉） 追加日程第3、質疑、討論、採決。

これより質疑、討論、採決を行います。

発議第1号の1発議案を議題といたします。

発議第1号について、質疑に入ります。

質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（林 一哉） 質疑なしと認めます。

これより討論に入ります。

討論はありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（林 一哉） 討論なしと認めます。

これより採決いたします。

発議第1号、旭市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について、賛成の方の起立を求めます。

（賛成者起立）

○議長（林 一哉） 全員賛成。

よって、発議第1号は原案のとおり可決されました。

◎日程第3 事務報告

○議長（林 一哉） 日程第3、事務報告。

事務報告を求めます。

総務課長、登壇してください。

(総務課長 平野哲也 登壇)

○総務課長(平野哲也) それでは、篤志寄附を受納いたしましたので、ご報告いたします。

1つ、豚肉200キログラムを有限会社ブライトピック千葉様、有限会社菅谷ファーム様、有限会社菅井物産様より、12月15日受納いたしました。

1つ、豚肉200キログラムを農事組合法人高木畜産様、有限会社菅井物産様、有限会社菅谷ファーム様、有限会社ブライトピック千葉様より、12月15日受納いたしました。

1つ、幼児向け遊具一式を實川恒雄様より、3月8日受納いたしました。

また、今回の震災に対しまして、市内外からたくさんの義援金品が寄せられておりますことを併せてご報告させていただきます。

以上で事務報告を終わります。

○議長(林 一哉) 事務報告は終わりました。

◎日程第4 閉 会

○議長(林 一哉) 以上をもちまして、本定例会に提出されました議案の審議は全部終了いたしました。

これにて平成23年旭市議会第1回定例会を閉会いたします。

長期間にわたり、大変ご苦労さまでございました。

閉会 午後 零時 2分

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

旭市議会 議長 林 一 哉

議 員 嶋 田 哲 純

議 員 柴 田 徹 也